

研究機関名：東北大学

受付番号： 2015-1-783
研究課題名炎症性皮膚疾患における pSTAT 発現の検討を目的とした後ろ向き研究
実施責任者（所属部局・分野等・職名・氏名）： 医学部・皮膚科・助教・藤村 卓
研究期間 西暦 2016年 3月（倫理委員会承認後）～ 2018年 3月
対象材料
■過去に採取され保存されている人体から取得した試料 <input type="checkbox"/> 病理材料（対象臓器名： ） ■生検材料（対象臓器名：皮膚 ） <input type="checkbox"/> 血液材料 <input type="checkbox"/> 遊離細胞 <input type="checkbox"/> その他（ ）
■研究に用いる情報 ■カルテ情報 <input type="checkbox"/> アンケート <input type="checkbox"/> その他（ ）
対象材料の採取期間：西暦 2000年 4月～西暦 2015年 12月
対象材料の詳細情報・数量等： （対象疾患名や数量等の詳細を記すこと。多施設共同研究の場合は、全体数及び本学での数量等を記すこと。） 当科で診断された痒疹 20例、尋常性乾癬 20例、アトピー性皮膚炎 20例、扁平苔癬 20例、表皮のう腫 20例の保存されている病理組織。
研究の目的、意義
表皮細胞核内の signal transducer and activator of transcription (STAT)のリン酸化は、真皮のサイトカインパターンを反映することが知られている。これまで我々は、真皮の IFN- γ 、IL-4/IL-13 などの Th1、Th2 サイトカインが表皮細胞核内の STAT1、STAT6 のリン酸化を制御している可能性で証明してきた。実際、扁平苔癬では phospho (p)STAT1 が、痒疹では pSTAT6 の発現が増強し、尋常性乾癬においては、表皮細胞の pSTAT3 の発現を増強していることを報告した。この度我々は、さらに pSTAT 2、pSTAT4、pSTAT5 の免疫染色を加え、各種炎症性皮膚疾患における染色パターンを解析した。痒疹、扁平苔癬、尋常性乾癬、アトピー性皮膚炎と表皮のう腫標本の健常部のそれぞれ 20 症例に対して pSTAT1-6 の免疫染色を行い、表皮基底層 2-3 層におけるスコアリングを行う。更に pSTAT1~6 のスコアリングデータをレーダーグラフで解析し、pSTAT の免疫染色パターンを明らかにする。これらの結果は、pSTAT 免疫染色により、いまだ免疫学的背景が不明である炎症性皮膚疾患を上記のパターンに照らし合わせることにより、これら炎症性皮膚疾患の病態解明、治療薬の選択つながるため意義があると考えられる。
実施方法
2000年4月から2015年3月までに当科で治療を行った痒疹、扁平苔癬、尋常性乾癬、アトピー性皮膚炎、表皮のう腫それぞれ 20 症例の皮膚生検標本を用いて、免疫染色で pSTAT1、pSTAT2、pSTAT3、pSTAT4、pSTAT5、pSTAT6 の表皮基底層 2-3 層における発現を評価する。各症例は、カルテベースで年齢、性別、病期、組織学的分類を提示する。各炎症性疾患において pSTAT の発現パターンを検討し、発現強度をスコア化し、統計学的に解析する。 本研究に対し、対象者から拒否の申し出があれば、その方の試料・情報は使用しない。ただし、

本研究で使用する試料・情報はすべて連結不可能匿名化を行った上で研究を実施する為、連結不可能匿名化後の試料・情報に対して対象者から拒否の申し出があっても対応することはできない。

研究計画書及び研究の方法に関する資料の入手・閲覧方法

研究計画書および研究方法に関する資料は、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない限り、下記連絡先より入手可能である。

東北大学医学系研究科皮膚科学分野 藤村 卓
仙台市青葉区星陵町1-1, 022-717-7271

個人情報の利用目的の通知に関する問い合わせ先

保有個人情報の利用目的の通知に関するお問い合わせ先：「本研究に関する問い合わせ・苦情等の窓口」
東北大学医学系研究科皮膚科学分野 藤村 卓

仙台市青葉区星陵町1-1, 022-717-7271

※注意事項

- 以下に該当する場合にはお応えできないことがあります。
- <人を対象とする医学系研究に関する倫理指針 第6章第16の1(3)>
- ①利用目的を容易に知り得る状態に置くこと又は請求者に対して通知することにより、研究対象者等又は第三者の生命、身体、財産その他の権利利益を害するおそれがある場合
 - ②利用目的を容易に知り得る状態に置くこと又は請求者に対して通知することにより、当該研究機関の権利又は正当な利益を害するおそれがある場合

個人情報の開示等に関する手続

本学が保有する個人情報のうち、本人の情報について、開示、訂正及び利用停止を請求することができます。
保有個人情報とは、本学の役員又は職員が職務上作成し、又は取得した個人情報です。

1) 診療情報に関する保有個人情報については、東北大学病院事務部医事課が相談窓口となります。詳しくは、下記ホームページ「配布物 患者さまの個人情報に関するお知らせ」をご覧ください。(※手数料が必要です。)

【東北大学病院個人情報保護方針】 <http://www.hosp.tohoku.ac.jp/privacy.html>

2) 1)以外の保有する個人情報については、所定の請求用紙に必要事項を記入しを情報公開室受付窓口に提出するか又は郵送願います。詳しくは請求手続きのホームページをご覧ください。(※手数料が必要です。)

【東北大学情報公開室】 <http://www.bureau.tohoku.ac.jp/kokai/disclosure/index.html>

※注意事項

- 以下に該当する場合には全部若しくは一部についてお応えできないことがあります。
- <人を対象とする医学系研究に関する倫理指針 第6章第16の2(1)>
- ①研究対象者等又は第三者の生命、身体、財産その他の権利利益を害するおそれがある場合
 - ②研究機関の研究業務の適正な実施に著しい支障を及ぼすおそれがある場合
 - ③法令に違反することとなる場合

本研究に関する問い合わせ・苦情等の窓口

東北大学医学系研究科皮膚科学分野 藤村 卓
仙台市青葉区星陵町1-1, 022-717-7271